あの丘越えて（1951）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 83分
初公開日 1951/11/01

【解説】
菊田一夫の原作を瑞穂春海が脚色し瑞穂春海が監督。14歳の美空ひばりと27歳の鶴田浩二の歌声で綴る青春映画。美空ひばりが歌う主題歌もヒットした。
母を亡くした万里子は婆やに預けられ、山の牧場で元気いっぱいに育っていた。新しい妻を迎え事業も成功した父の研一郎は、万里子を東京に呼び戻した。婆やたちに別れを告げた万里子は、新しい母である朝子や家庭教師の大助に愛され、都会での暮らしを楽しめるようになっていた。しかし研一郎の事業の業績が悪化し、朝子の父の伍平に援助を頼むことになった。ひょんなことから万里子が朝子の実子でないことを知り、万里子を自分の孫と思い込んでいた伍平は腹を立ててしまう。責任を感じた万里子は家を出て、ひとりで山の牧場へ帰っていった。

【クレジット】
監督 瑞穂春海
製作 山口松三郎
企画 福島通人
原作 菊田一夫
脚本 瑞穂春海
撮影 厚田雄春
美術 熊谷正雄
編集 浜村義康
音楽 万城目正
出演 美空ひばり
鶴田浩二
井川邦子
飯田蝶子
森川まさみ
中川弘子
新田実
高屋朗
奈良真養
堺駿二
河村黎吉

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.